

秋保

足軽集落 野尻を歩く

野尻は、秋保大滝から県立自然公園「二口峡谷」に向けて車で約5分、街道沿いの小さな集落です。

ここで採れるそばは絶品です。新そば好きなら、毎年11月頃に開かれる『野尻の新そばまつり』は外せません。

集落の周囲には、歩いて行ける景観の良い散策ルートもあります。秋葉神社の本殿を守るように聳える杉の巨木や、天神淵のおだやかでどこまでも透明な水辺、高台の見晴しも格別です。

地元の方々だけが知っている、これまでのパンフレットには載っていないルートを、地元の方々と一緒に歩いて一枚の地図にしました。

昔からの家並みや、どこまでも続く青い山々。地図を片手に、秋保の原風景をちょっと探検しにでかけてみませんか？

野尻集落は、仙台市と山形市を結ぶ二口街道の西部秋保郷に位置する豊かな自然と歴史文化が豊富な集落です。戦国時代には、伊達氏と最上氏との境界争いの最前線として重要視されました。藩政時代初頭に藩境警備を司る「野尻番所」が置かれ、当時集落22戸のすべてが足軽として召し抱えられた歴史を伝えています。家々は垣^{かき}辺^へから街道を監視できるように、向い合って建てられ、今でも当時の面影を残す家々が見られます。蔵王国定公園、県立自然公園二口峡谷に属する、名勝「磐司」や秋保郷の主峰「大東岳」など雄大な二口山塊の入口に位置し、磐司磐三郎伝説をはじめ多くの逸話を伝えています。そこには人々が暮らした地域文化の魅力が広がっています。

いってみっぺ 秋保 足軽集落野尻を歩く

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

歴史が刻む

そばの里・野尻

いにしえびと
古人の想いをたどる

そこは秋保の原風景

愛宕神社・小屋立て山



戦国時代、度々争いの舞台となったと伝わる野尻。その際集落民の避難所となった山で、名取川や穴戸沢など自然の要害の中にあります。登り50mほどの急坂が続きます。名取川を越さなければ参詣できず、増水時には渡れません。例祭日は6月下旬の日曜日です。

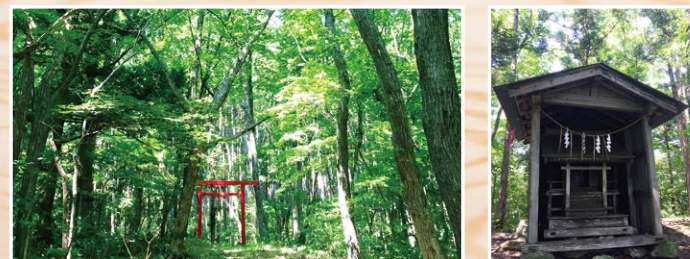
八坂神社

名取川沿いの小高い自然の盛山に鎮座し、山里の鎮守らしい厳かな雰囲気を持っています。病氣平癒を願う人々の祈りを感じ取ることができるパワースポットの1つです。例祭日は4月中旬の日曜日です。



秋葉神社

集落のほぼ真西に鎮座し、広葉樹と杉木立の中を抜け、小高い峰に大杉と大松を従え集落を見守っています。かつて野尻が大火に見舞われたことを機に勧請した社で、集落を含む西部二口街道の火伏の神様です。例祭日は5月下旬の日曜日です。



天神淵・川遊び



名取川上流部ならではの澄み切った渓谷の流れは、四季折々に豊かな景観と遊びのアクティビティが楽しめる空間です。ただし「天神淵」への通路は、地元野尻の方々が大切に守ってきた神聖な参道です。ゲートを越えるには、ばんどころや地域の承諾が必要なので注意しましょう！



野尻を歩く



野尻フットパス モデルコース

ばんどころ→かんばら→砂防堤小道→越え戸の沢分岐
→鷹ノ巣小道→鷹ノ巣口→二口街道→ばんどころ（一周約70分）

ばんどころ→天神淵→愛宕神社(小屋立て山)（往復2時間）
【川越えの履物必要、名取川増水時は不可】
（天神淵への通路を入れる場合は、ばんどころや地域の承諾が必要です）

ばんどころ→八坂神社（往復20分）

ばんどころ→秋葉神社（往復35分）

ばんどころ→鷹ノ巣山（往復3時間）

エリア内の参道・小道は私有地を含みます。
どなたでも歩行は可能としていますが、節度ある散策、マナー遵守に努めましょう。



新種の桜「秋保足軽紅重」



「ばんどころ」の中庭に植栽された樹齢約270年の桜。オオヤマザクラが突然変異したとされる桜で、通常5枚の花弁が6、7枚混じる一般的なヤマザクラに比べ1.5倍大きい直径約3～4.5cmの淡紅色の花を咲かせます。2020年に公益財団法人「日本花の会」より新種として認定されました。4月上旬から中旬が開花時期です。

野尻とそば

野尻は冷涼な高地なため、米よりも雑穀の作付けが古くから行われてきました。中でも「そば」は大事な予備食として、どの家も毎年欠かすことなく蒔いたといいます。伝統的な食べ方としては、そば粉を大きな鍋で煮ながらよく練って餅のようにしたもの、味付けしたジュウネン(エゴマ)のたれで食べる「そばねつけ」(そばがき)があります。これを蒸したり・油で揚げたり・焼いたりして食べるのが普通だったといいます。

今、作付けされているそばは、連綿と受け継がれてきた品種で、「秋保在来」と呼ばれています。平成初期に、野尻にわずかに残っていたそば種を地元の有志らが少しずつ増やし、その後(農)あきう生産組合が本格的な生産拡大を図り、特産化したものです。近年、高地特有の風味豊かな蕎麦として高く評価され、秋保のそばの魅力が静かに広がりつつあります。

毎年9月上旬から中旬には、花の時期となり集落全体が真っ白な花で覆い尽くされる風景は絶品で、カメラを片手に多くの方が訪れます。

晩秋の11月頃、香り高い新そばを味わおうと大勢の来訪者で賑わいます。



野尻交流カフェ『ばんどころ』

地元の集会所を改装して平成29年10月にオープン。名称は藩政時代、二口街道の要所としてここに番所が置かれたことに因みます。

野尻・二口エリアの自然や歴史、山里の楽しみ方や散策アクティビティなど、地元住民との交流による地域色豊かな情報を得ることができます。

また、風味豊かな手打ちそばが食べられるほか、美味しい水を活かした野尻オリジナルブレンドコーヒー、特産のそばを使ったそばねつけ揚げなどの軽い飲食が可能です。四季折々の里山フットパス、川遊びや雪遊びなどの体験型観光、地元地域団体と連携した生物観察会や歴史イベントなどが開催される拠点施設でもあります。

駐車場もあり、自転車での休憩にも最適で、野尻の自然体験アクティビティの休み処としてオススメです。

野尻・二口のことはここで聞こう!!

・商い日時 土日のみ(集落の催事の場合を除く) 11時～14時

・問合せ 電話 090-1938-6957

